

1

教職課程

(1) 免許状取得について
（教職課程の履修）

- ① 教員免許状を取得しようとする学生は卒業に必要な単位のほかに、免許教に応じた教科および教職に関する科目の単位修得が必要です。
- ② 中学校教諭1種免許の取得には介護等体験が義務づけられています。
- ③ 教職課程を履修するには学費とは別に教職課程履修費が必要です。さらに、教育実習費・介護等体験費と保険料、教員免許状授与申請料などの諸費用が必要です。
- ④ 教職課程履修希望者あるいは履修中の学生は、必ず、新年度の学年別教職課程ガイダンスに出席して下さい。

(2) 取得できる免許状の種類と教科

学部	学科	免許状の種類	免許教科
経済	経済	中学校教諭1種免許状	社会
		高等学校教諭1種免許状	地理歴史
		高等学校教諭1種免許状	公民
		高等学校教諭1種免許状	※商業

注. ※印の免許教科「商業」については、2005年度以降入学生のみ取得可能。

(3) 教職課程履修
申し込み

- ① 教職課程履修の申し込みは2年生です。新2年生教職課程ガイダンス終了後、所定期日に受け付けを行います。
- ② 教職課程履修費は28,000円（前年度参考）です。申し込み手続の際に納入して下さい。なお、納入した教職課程履修費の返還はできません。
- ③ 中学校教諭1種免許状と高等学校教諭1種免許状の両方の取得を申し込むことができます。中学校教諭1種免許状の取得を申し込むことで同時に介護等体験の申し込みも行ったことになります。
- ④ 取得を申し込んだ免許状の種類（中学校教諭1種免許状・高等学校教諭1種免許状）は変更できません。

(4) 教職課程科目の
履修登録

教職課程科目は、「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に区分されますが、それぞれに必要な単位をすべて修得して下さい。（後出の科目一覧表参照）

- ① 「教職共通科目」は教職課程履修者全員が修得して下さい。1年生から開講されますので、計画的に履修を始めて下さい。（後出の科目一覧表参照）
- ② 「教科に関する科目」は免許教科に応じた科目を修得して下さい。1年生から開講されますので、計画的に履修を始めて下さい。（後出の科目一覧表参照）
- ③ 「教職に関する科目」は免許状の種類・免許教科に応じた科目を修得して下さい。（後出の科目一覧表参照）
- ④ 「教職に関する科目」（読替科目を除く）の単位は、年間履修制限単位には含まれません。また卒業所要単位にも算入されません。
- ⑤ 「教職に関する科目」のうち、下表の科目は該当する「全学共通科目」を修得することで自動的に単位が認定されます。

* 教職に関する科目	全学共通科目（開講）
教育原論	教育学A（1～4年）
教育構造論	教育学B（1～4年）
発達と学習の原理	心理学B（1～4年）

注1. 「* 教職に関する科目」は、授業時間割表に表示されません。

- ⑥ 「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」（後出の科目一覧表参照）の中には、複数学部合同開講や履修者数制限を行う科目があります。自己責任において漏れのないよう履修登録を行って下さい。

(5) 介護等体験

- ① 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の「社会福祉施設（5日間）」と「盲・聾・養護学校（2日間）」で合計7日間以上の介護等体験が義務づけられています。体験の施設や日程の決定については、掲示で案内します。
- ② 介護等体験のスケジュールについては、後出の「教職課程行事予定表」を参考して下さい。
- ③ 介護等体験に先立って行われる「介護等体験の事前指導」を受けなければ、介護等体験を行うことはできません。
- ④ 介護等体験期間中の「賠償責任保険」への加入が義務づけられています。
- ⑤ 介護等体験を終了した学生は、「証明書」（事前指導で配布）に介護等体験先の学校長・施設長より署名捺印をもらって下さい。この「証明書」は免許状授与申請の際に必要ですので、介護等体験実習記録といっしょに教務課教職係に提出して下さい。

(6) 教育実習

- ① 中学校教諭1種免許状取得希望者の履修条件
3年次終了までに卒業所要単位のうち90単位以上修得していること。また、教職に関する科目のうち、当該教科教育法を含む、6科目以上修得していること。
- ② 高等学校教諭1種免許状取得希望者の履修条件
3年次終了までに卒業所要単位のうち90単位以上修得していること。また、教職に関する科目のうち、当該教科教育法を含む、5科目以上修得していること。
- ③ 「教育実習Ⅰ（中学校教諭）5単位」「教育実習Ⅱ（高等学校教諭）3単位」のうち1単位は「教育実習事前事後指導」に充当しますので、「教育実習事前事後指導」には必ず出席して下さい。また、「教育実習Ⅱ（高等学校教諭）3単位」をもって「教育実習Ⅰ（中学校教諭）5単位」に充てることはできません。
- ④ 「教育実習」は中学校教諭・高等学校教諭の免許の種類によって実習期間が異なります。中・高両方の免許状取得希望者は、必ず「教育実習Ⅰ（中学校教諭）5単位」を履修して下さい。
- ⑤ 実習校への受け入れ内諾依頼は、実習を実施する前年度（原則、3年生）に学生本人が行います。学生が依頼できない学校や、大学から申請を必要とする学校などについては、教職課程ガイダンスで説明します。
- ⑥ 教育実習履修有資格者は、3年生の3月下旬に掲示します。

(7) 教員免許状の交付

- 教員免許状の取得に必要な単位を修得した学生は、卒業時に教員免許状を受け取ることができます。
- ① 教員免許状を受け取るには、免許教科1件につき3,500円（交付申請料3,400円及び大学の発行する証明書手数料100円、前年度参考）が必要です。
 - ② 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一括して交付申請手続きを行いますので、4年生は9月下旬の「教員免許状授与一括申請ガイダンス」に必ず出席して下さい。

(8) 履修上の注意

- 下記の場合は、必ず教務課教職係へ連絡して下さい。
- ① 教職課程を離脱（免許状取得を断念）する場合。
 - ② 教職課程は継続するが、事情があって、介護等体験（3年生）や教育実習（4年生）を該当学年に行わない場合。
 - ③ 取得希望の免許教科を変更しなければならない場合。
 - ④ 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載内容に変更があった場合。
 - ⑤ その他、教職係に伝達が必要と思われる事項。例えば、実習校からの連絡など。

(9) 再試験

- 再試験については下記の通りです。
- 《対象科目》
教職に関する科目（演習・実習科目を除く）
教科に関する科目「自然地理学」「地誌」
また科目により実施しないことがあります。
- 《対象学年》 4年生
- 《再試験受験制限単位》（全学共通科目・学部固有科目・資格科目共通）
再試験受験制限単位に含まれます。（再試験受験制限単位については全学共通科目・学部固有科目の再試験を参照して下さい）

教職課程行事予定表

学部生	時期	窓口：教務課 教職係	対象・概要
1年	4月初旬	●新入生教職課程ガイダンス	・ガイダンス予定表掲示参照 ・課程履修全般説明
2年	3月下旬	●新2年生教職課程ガイダンス	・ガイダンス予定表掲示参照 ・課程履修申込・以降の諸手続き説明
		■▲教職課程履修者登録申請手続き	・新2年生教職課程ガイダンスで説明 ・課程履修費28,000円必要
3年	3月下旬～	●新3年生教職課程ガイダンス	・ガイダンス予定表掲示参照 ・教育実習準備・以降の諸手続き説明
		▲中学1種希望者への介護等体験事前指導	・実施日予定表掲示参照 ・体験の諸注意説明
	4月中旬～	■教育実習校選定と受け入れ校への内諾依頼	・新3年次ガイダンスで依頼方法説明
	5月下旬	■愛知県公立中学校、名古屋市立学校の教育実習者登録	
	6月上旬～	▲介護等体験の費用納入	・事前の案内掲示参照
		▲介護等体験の賠償責任保険加入	
		▲介護等体験先(社会福祉施設5日間)決定	
	7月上旬～	▲介護等体験先(社会福祉施設)受入計画書等配布	・体験1～2週前から提出
		▲介護等体験の授業欠席届提出	
	7月中旬	▲介護等体験先(盲、聾、養護学校2日間)決定	・事前の案内掲示参照
		▲介護等体験先(盲、聾、養護学校)受入連絡事項等配布	
7月・9月	■教育実習の自己紹介書提出	・提出方法は案内掲示参照 ・実習校や実習期間未定者も全員提出	
9月～翌年5月	■実習校・教育委員会への教育実習承認申請	・申請が必要な場合、順次申請	
8月～12月	▲介護等体験実施と「証明書・体験記録」提出	・体験終了者 ・提出期日は掲示確認	
4年	3月下旬	●新4年生教職課程ガイダンス	・事前の案内掲示参照
		■名古屋市立中学校の実習校決定 ■愛知県公立中学校の実習校決定	・自己紹介書に決定校記載
	4月中旬～	■教育実習の賠償責任保険加入	・体育学部4年生は対象外 ・新4年生教職課程ガイダンスで説明
		■教育実習期間最終確認はがき配布	・教職係から実習校へはがき確認 ・到着後、掲示・案内・配布
		■教育実習の事前指導	・授業時間割表参照
	4月下旬～	■教育実習校との事前打ち合わせ	・春学期実習生
	5月中旬～	■教育実習の授業欠席届提出	・実習開始1～2週前から提出
	5月上旬～	■教育実習の実施	・春学期実習生の教育実習経過報告
	7月～8月	■教育実習事後指導	・春学期実習生
	8月～	■教育実習校との事前打ち合わせ	・秋学期実習生
	8月下旬～	■教育実習の実施	・秋学期実習生の教育実習経過報告
	9月中旬～	■実習期間中の授業欠席届提出	・実習開始1～2週前から提出開始
	9月下旬	★免許状授与一括申請ガイダンス	・卒業・免許条件の単位修得見込者 ・科目等履修生は対象外(以下★行事同様)
		★免許状授与一括申請登録カードの提出	・申請費の納付
	10月	★免許状一括申請〔1次〕(授与見込み者の登録)	・教職係から愛知県教育委員会へ申請
	10月～12月	■教育実習事後指導	・秋学期実習生
	11月下旬	★免許状一括申請用授与願の確認・捺印〔2次申請用〕	・正式申請書類への署名・捺印
2月初旬	■教育実習の指導案返却(豊田のみ)	・4年次成績発表日	
3月上旬	★免許状一括申請〔2次〕(授与予定者の資格審査)	・大学から愛知県教育委員会へ申請 ・単位不足・卒業不可者の授与取り下げ申請	
卒業式	★免許状交付(予定)		

行事区分 ●ガイダンス ▲介護等体験 ■教育実習 ★免許申請

注1. 教職課程行事の詳細は、ガイダンスまたは掲示で連絡します。

注2. 教職課程行事とは別に「教員採用試験対策」の行事が企画されています。キャリアセンター窓口や掲示で連絡します。

教職共通科目

科目名	単位	開講	備考
日本国憲法☆	2	1～4年	必修
個人スポーツA・B☆	各1	1～4年	2単位 選択必修
チームスポーツA・B☆	各1	1～4年	
フィットネスA・B☆	各1	1～4年	
シーズンスポーツA・B☆	各1	不開講	
障害者スポーツA・B☆	各1	1～4年	
基礎英語コミュニケーション☆	2	1年	2単位 選択必修
総合英語コミュニケーション☆	2	1年	
情報リテラシー※	2	1年	必修

注. ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教科に関する科目（社会・地歴・公民）

科目名	単位	開講	備考		
			中1種	高1種	
日本史A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
西洋史A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
東洋史A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
地理学A・B☆	各2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	
自然地理学	4	3年	中1種社会	高1種地歴	
地誌	4	2年	中1種社会	高1種地歴	
政治学A・B☆	各2	1～4年	中1種社会		高1種公民
倫理学A・B☆	各2	1～4年	中1種社会		高1種公民
マクロ経済学※	4	2～4年	中1種社会		高1種公民
ミクロ経済学※	4	2～4年	中1種社会		高1種公民
国際法I・II※	各2	2～4年			高1種公民
心理学A・B☆	各2	1～4年			高1種公民
国際経済学※	2	2～4年			高1種公民 12単位 選択必修
行政法I・II※	各2	2～4年			
社会学A・B☆	各2	1～4年			
哲学A・B☆	各2	1～4年			
社会保障論※	2	2～4年			
現代の景気循環※	2	2～4年			
財政の基礎※	2	2～4年			
金融の基礎※	2	2～4年			
貿易論の基礎※	2	2～4年			
労働経済の基礎※	2	2～4年			
地方政府の経済学※	2	2～4年			
環境経済の基礎※	2	2～4年			
日本経済論※	2	2～4年			
日本経済の基礎※	2	2～4年			
西洋経済史※	2	2～4年			
日本経済史※	2	2～4年			
現代日本経済史※	2	2～4年	高1種地歴		
経済史概論※	2	2～4年	12単位		
都市経済学※	2	2～4年	選択必修		
中部経済論※	2	2～4年			
アジア経済論※	2	2～4年			
アメリカ経済論※	2	2～4年			
ヨーロッパ経済論※	2	2～4年			

注. ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教科に関する科目(商業)

科目名	単位	開講	備考
			高1種
マクロ経済学入門※	2	1年	高1種商業
ミクロ経済学入門※	2	1年	高1種商業
商法Ⅰ・Ⅱ※	各2	2～4年	高1種商業
会計学Ⅰ・Ⅱ※	各2	2～4年	高1種商業
職業指導	4	3～4年	高1種商業
簿記Ⅰ・Ⅱ※	2	1年	高1種商業
データからみた経済※	2	1年	高1種商業 16単位 選択必修
経済数学※	2	1年	
経済と経済学の歩み※	2	1年	
経済統計論※	2	2～4年	
産業関連分析※	2	2～4年	
計量経済学の基礎※	2	2～4年	
計量経済学※	2	2～4年	
経済情報の活用※	2	2～4年	
経済シミュレーション※	2	2～4年	
経済学史※	2	2～4年	
現代経済学史※	2	2～4年	
保険論※	2	2～4年	
国際金融論※	2	2～4年	
国際通貨論※	2	2～4年	
財政の仕組み※	2	2～4年	
租税の経済学※	2	2～4年	
市場と規制の経済学※	2	2～4年	
金融政策※	2	2～4年	
銀行論※	2	2～4年	
証券論※	2	2～4年	
ファイナンス論※	2	2～4年	
労働経済論※	2	2～4年	
貿易論※	2	2～4年	
入門貿易政策※	2	2～4年	
国際マクロ経済学※	2	2～4年	
中小企業論※	2	2～4年	
情報メディア論※	2	2～4年	

注. ※印の学部固有科目は、履修登録制限単位に含まれます。

教職に関する科目

科目名		単位	開講	備考			
				中1種	高1種		
教育原論	教育学Aで読替☆	2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
教育構造論	教育学Bで読替☆	2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
発達と学習の原理	心理学Bで読替☆	2	1～4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
教職入門		2	2年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
教科教育法の内容と方法		2	2年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
学習指導の過程		2	3年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
道徳教育の研究		2	2年	中1種社会			
特別活動の方法		2	4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
生徒指導の方法		2	4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
教育相談（カウンセリング）		2	3年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
社会科教育法		4	3年	中1種社会			
社会・地理歴史科教育法		4	3年	中1種社会	高1種地歴		
社会・公民科教育法		4	3年	1科目選択必修		高1種公民	
商業科教育法		4	3年				高1種商業
教職総合演習Ⅰ		2	3・4年	中1種社会	高1種地歴	高1種公民	高1種商業
教職総合演習Ⅱ		4		(不開講)			
教育実習Ⅰ（中学校教諭）		5	4年	◎中1種社会	◎	◎	◎
教育実習Ⅱ（高等学校教諭）		3	4年		高1種地歴	高1種公民	高1種商業

注1 ☆印の全学共通科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

注2 ◎印の中1種、高1種両免許状取得希望者は、「教育実習Ⅰ」を履修して下さい。